

長尾トモ子プロフィール

自民党 女性議員地域政策研究会長として現在活躍中!!

- 学歴**
- ・郡山市富田小学校
 - ・郡山市第六中学校
 - ・安積女子高等学校（現安積黎明高校）
 - ・郡山女子大学短期大学部保育科

- 経歴**
- ・ばんだい学園（知的障害施設）保母（3年間）
 - ・双葉幼稚園主任（S48～14年間）
 - ・食品団地はなさと保育園園長（H3～11年間）
 - ・並木幼稚園副園長（H3～4年間）
 - ・チャイルドハウスうねめ園長（S62～33年間）
 - ・（一社）チャイルドハウスとみた理事長（H29～現在）

- 議員歴**
- ・平成17年県議会議員当選（11期目）
（農林水産委員会）
 - ・平成19年県議会議員（2期目）
（福祉公安副委員長）（企画環境副委員長）（議会広報委員）
 - ・平成23年県議会議員（3期目）
（議会広報委員長）（商労文教副委員長）
（商労文教委員長）（自民党女性部長）
 - ・平成27年県議会議員（4期目）
（議会運営委員長）（県監査委員）（自民党女性局長）
 - ・令和元年県議会議員（5期目）
（第77代副議長）（県民健康子どもの未来特別委員長）（福祉公安委員）

- 社会活動**
- ・一般社団法人福島子どもの未来を考える会理事長（H24～）
 - ・YOSAKOIを広める会顧問（H13～）
 - ・ライオンズクラブ、倫理法人会、家庭倫理の会会員
 - ・NPO輝く猪苗代をつくる県民会議副理事長（R5～）
 - ・逢瀬川ふれあい通り実行委員長（H14～）
- その他



自民党全国女性局中央研修 ～安倍前総理と共に～ 自民党本部にて

長尾トモ子 5期18年間で実現した事

- 平成19年**
 - ・子育て応援パスポート“ファミタンカード”導入
 - ・多子世帯保育料補助（第3子以降・3才未満児）
- 平成21年**
 - ・発達障害児支援についての充実を図る・
県内の養護施設や里親状況の改善
- 平成22年**
 - ・猪苗代湖の水難事故防止のための「水上警察隊」提案し実現
 - ・内環状線全面開通へ尽力
- 平成23年**
 - ・原発事故後屋外活動制限による子ども達への自然体験（ふくしまっご自然体験事業）
 - ・年令に応じた分かりやすい放射線対策のパンフレットを作る
 - ・通学路の汚染マップを作り通学路の環境浄化
 - ・子ども達へ個人線量計配布
 - ・私立幼稚園の園児減少に対し県の補助制度提案
- 平成24年**
 - ・日本一の子育てしやすい県づくりのため「子ども支援部」設置を要請（H27から「子ども未来局」創設）
- 平成26年**
 - ・特別支援教育は地域と連携した教育環境の中で育成（田村市へ）
- 平成27年**
 - ・アクアマリンふくしまと猪苗代町淡水魚館の連携提案
 - ・富田町に出来る医療機器開発支援センターを中心とした医療関連産業の集積の推進
 - ・ロボット産業などの先端産業の分野で活躍できる人材育成を教育現場に取り入れる
 - ・福島の人材確保のために専修学校への支援
- 平成28年**
 - ・保育士・介護士の人材確保のため、学生修学資金や勤務環境の改善を図るべき
 - ・環境創造センターを原子力災害からの環境回復や、子どもへの環境教育や教育旅行回復に結びつけるべき
- 平成29年**
 - ・福島復興に役立ちたいと願う子ども達のための、先端産業、地域づくり、各種専門性を高めるための人材育成を推進すべき
- 令和元年 令和2年**
 - ・東日本台風19号による阿武隈川、逢瀬川の水害対策
 - ・第77代福島県議会副議長就任（令和元年12月10日～令和2年12月17日）
 - ・コロナウイルス対策として消毒液等を保育園や幼稚園に先行配布すべき
 - ・乳幼児に関わる保育士などにいち早くワクチン接種を行うべき
- 令和3年**
 - ・福島沖地震被害で全壊、半壊以下でも県として支援すべき（約1,300戸に各10万円）
 - ・グループ補助金に企業だけでなく私学や専修学校も対象とする
 - ・猪苗代湖の水質浄化のため大型水草回収船の購入を要請
 - ・15年以上幼稚園勤務経験者に対し1種免許取得のため受講項目指定をなくす（10単位）
 - ・猪苗代湖の水難事故防止のため今まで夏場みの警らを5月から10月末まで行い事故防止に当る
 - ・ファミタンカード導入15年目になり今年からスマホでも対応出来るようにする
- 令和4年**
 - ・原発事故以来提案して来た思春期病棟「こころの杜医療センター」開設
 - ・郡山市富田に県中児童相談所開所



誰もが生き生きと

輝く福島を創る

実績と実行力

県議会議員

長尾トモ子

長尾トモ子連合後援会

〒963-8041 郡山市富田町向館109-1
TEL.024-951-0341 FAX.024-951-0361



行動する 走る「うつくしま汗かき人」 6期目をめざす長尾トモ子の決意

東日本大震災・原発事故から12年、その後も地震、水害、コロナウイルス感染症により人と人との出会いが制限され、経済活動や社会活動が充分出来なかった私達です。

年々少子高齢化が進行する中で、実績と経験がある「**長尾トモ子**」が“子ども”“働き世代”“高齢者”“障がい者”の誰もが生き生きと輝く福島を創るため、情熱を持って「**長尾トモ子**」は走り続けます。

平成10年から福島にYOSAKOIまつりを広め地域活性化を図って来ました



▲H23年からペラルーシ共和国からの招待で福島の子供達を7年間300人を連れて交流させました



蓬瀬川のゴミ退治



猪苗代湖のヒシ回収



頑張ります!! ～誰もが生き生きと輝く福島を創るために～

①次世代の人づくり

国づくりは人づくり。長年幼児教育に携わっている事を生かし、次世代を担う子ども達が日本人として、福島県民として誇りを持ち、健やかに育つ事を願い「教育、青少年育成」「子育て支援の充実」「虐待防止対策」「発達障がい支援」「ひきこもり対策」を行います。



②活力ある県土づくり

地域の特性を生かし「農業」「商工業」「商店街」など活力みなぎる地域づくりを進めます。さらに「医療機器産業」「原発に依らないエネルギー政策（水素、太陽光、水力）」「先端産業（ロボット、ロケット）」を世界に発進、産業交流し活力ある福島県を創ります。



長尾トモ子 4つの約束

③高齢者・障がい者・女性が社会で活躍できるしくみづくり

女性ももっと社会で活躍できる社会、少子高齢化が進む中で、「子ども」「高齢者」「障がい者」など、多様な人々とつながりや絆を大切に、誰もが安心して生活できる心豊かな社会づくりを推進します。



④誇りあるふるさとづくり

震災、原発事故で苦しんだ福島県ですが、地域の伝統文化のすばらしさを感じられる社会、地域づくり、又猪苗代湖など美しい自然や水環境を守り次世代につなぎます。

